

地方通信



北海道地方

北海道廳土木費の革新

北海道廳では昨夏全道十八の治水、道路、港灣等の土木事務所を一〇現業事務所に配合し、爾來大いに機構改革によりて明十五年度の土木豫算の事務費から十七萬三千圓が浮いたので協議の結果、これを工事費に繰入れる事に決定した。繰入れの内譯は、道路橋梁に十萬圓、治水に四萬五千圓、土地改良に一萬圓、河川に一萬圓、港灣に八

千圓であるが、官吏の俸給や賞與を繰出すため、工事費を事務費に流用してゐた從來の遣り方に較べて、興亞の國是に即應した革新的斷行として、道民の注目をひいて居る。

東山地方

長野縣下林産物搬出道路の開鑿計畫さる

長野縣北アルプスの密林を開拓し、パルプ資材の増産計畫を樹て、居た松本營林署では、愈十五年度から四ヶ年間の計畫で、

大白川國有林から落葉松の間伐材四千五百立方メートルを搬出する事となり、南安曇郡安曇村稻核部落を起點に、幅三メートル、長さ六百二十六メートルの車道と、幅一メートル六、長さ二千五百五十一メートルの牛馬道を開鑿する事となり、雪解けを待つて工事に着手することとなつた。

近畿地方

京都府内興亞の幹線道路の建設目論まる

裏日本と京阪を結ぶ興亞の大動脈たる舞鶴、大阪間の幹線道路建設問題は、舞鶴鎮守府の復活開闢と、大陸政策による産業の躍進により拍車をかけて、促進を要望されてゐたが、内務當局における調査は着々進捗し、總工費實に千五百萬圓を投じ、舞鶴——綾部——須知——園谷——龜岡——池田——大阪に至る總延長百三十餘キロ、九

メートルから十五メートルの幅員で建設に取にかゝることに内定し、いよゝ最後の現地調査として金子内務省第二技術課長は舊臘二十一日自動車で同幹線道路の實地調査を行った。この内務省計畫路線に對し、

京都府では京都―舞鶴間の産業貿易ルートの完壁を期するため、目下道路改修擴張工事を進め、昭和十六年度をもつて完成することになつてをり、兩路線とも舞鶴から龜岡まで一線を使用、龜岡より分岐して一は大阪直通、一は京都經由、大阪に達することになり、かくして興亜日本の中樞産業都たる京阪神と裏日本に翼を張る舞鶴をはじめ、小濱、敦賀の諸港と完全に握手し、素晴らしい飛躍が約束されて速かなる實現を待たれてゐる。

大阪府下大阪市内新道の開通

大阪府大阪市内南區霞町より阿部野橋大鐵前に至る新道路は昨十四年來施工中であ

つたが、此程竣工したので一月開通した。此新道路は延長一軒、堺筋より阿部野、堺方面に向ふ自動車は、該線を利用すれば天王寺公園南側の急坂が避けられる上に、阿部野橋交叉點を迴避出来るので、非常に便利となつた。

大阪府下今宮平野線大道路開通近きに在り

大阪府大阪市内阿部野橋の雜踏を緩和する大道路は、南大阪の支關口、大鐵前から西へ眞一文字に通ずる都計今宮、平野線街路の一部として築造中であつたが、此程竣工し、近く一般自動車の交通が許されることになつた。同道路は地下鐵の上を走つて將來は大鐵前からさらに東南へ住吉區平野まで行くはずだが、今回竣工するのは大鐵デパートから關西線の南側に並行して、国道十六號線にいたる延長千四百六十メートル、幅員二十五メートルの坦々たる鋪裝道路で、途中南海天王寺線、同阪堺線と平面

交叉してゐるが、ゆくゝは天王寺線の高架工事により、踏切が撤去されるはずである。同道路の完成が南大阪の交通におよぼす影響はまさに畫期的なもので、紀元二千六百年を迎へ、橿原神宮參拜客をひきうける大鐵をはじめ阪和、關西線など郊外電車から南大阪に溢れ出す旅客の市内輸送は、これにより大助かりで、今日野田阪神の踏切と並んで大阪第一の雜踏場所である阿部野橋上の交通もうんと緩和される。従來は田邊、平野、東天下茶屋など住吉區の住宅街や大鐵利用の通勤者、阿部野齋場往還の人々など、南大阪から都心部へ往復する人々や、車馬は必ず阿部野橋上を通過せねばならなかつたものが、これにより、東大阪へ赴く車馬を除いて、他は大部分廣廣とした新道路を邁進することができ、新道路から堺筋へ、あるひは国道十六號線へ御堂筋へと自由に赴くことができ、時間的にも、うんとスピードアップされる。

この道路が完成し、一般通行がはじまる

と、關西線北側の街路は大部分の交通を阿部野橋を渡らずにすむ新道に路奪はれることになるのであらう。

中國地方

山口縣下大產業道路開發提唱せらる

山口縣に於る瀬戸内海沿岸各都市の發展は近年著るしいものがあるにもかゝらず、各都市を結ぶ輸送路は不完全極まるもので、目下着々と改修中の二號國道の完成をみた曉にしても膨脹する輸送量を消化し切れるものとは思はれないので、宇部市では宇部、岩國間の海岸線各都市を結ぶ産業道路を提唱、防府、徳山、下松、岩國はじめ關係市町村に呼びかけてその實現を期する計畫をすゝめてゐるが、宇部、下關間を結ぶ産業道路は目下進捗中で、こゝ二、三年中には完通する運びとなつてゐるので將來はこれと相待つて下關、宇部より岩國

まで海岸線を縫ふ一大産業道路を實現せしめようといふのである。

九州地方

福岡縣若松戸畑間隧道開發促進運動？

福岡縣若松市柳川市長は舊關東京から歸着し、重要問題として取扱はれて居る若戸隧道開發につき次の如き談話をされた。

「内務、大藏、鐵道、逓信各省はか關係方面を短期日の間に歴訪した。内務省では若戸トンネル促進方を依頼したが、同問題は洞海灣浚工と共に、ますますその施設急務を各方面から認められ、殊に海運關係からは促進について、有力な援助が起りつゝあるので、實際問題として放任されぬ状態である。又洞海灣の國營移管も時期の問題で、港灣協會長及道路改良會長水野鍊太郎氏もこれを力説されてゐる。縣營で行かれぬばどうしても國營に訴へるほか對策はない云

々

大分縣別府市の遊歩道新設の計畫

別府灣を一望に收さめ泉都有數のハイキングウエイ乙原志、高間の山道を改修して名實ともに遊歩道としたいとは、觀光關係者の多年の懸案であるが、時局柄觀光道路の施工は遠慮すべきものではなからうか、との懸念もあつたが、別府市産業課では觀光課とタイアップして、乙原、船原間の林道改修を計畫、延長千五百メートル、幅員二メートル、總工費四千圓、二ヶ年事業として縣に申請することになつた。

船原には縣の模範林あり既に樹齡三十年を越え、縣でもこれが伐採のため、林道の必要を感じて居り、また同地點は志高まで僅かの距離であるため、林道實現の上はそれから志高までの間の工事は簡單にすむことになり、縣の諒解さへあれば直に今春一日も速かに着工する意氣込みである。